

大里中学校 社会科シラバス 3 学年



1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「中学生の歴史(帝国書院)」
「新しい社会 公民(東京書籍)」

- ・歴史的事象に対する関心を高め、日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解する。
- ・国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解する。
- ・個人の尊厳と人権の尊重の意義を正しく認識して、民主主義に対する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民としての基礎的教を培う。
- ・民主政治の意義、国民生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代社会の生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目して、自ら考えようとする態度を持つ。

2 授業の進め方

- (1) 授業は、プリントやノートで様々な課題を提示します。きれいにまとめられるようにしよう。
- (2) 単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えよう。
- (3) 電子黒板を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。
- (4) テレビや新聞、SNS等の社会で起きた問題(ニュース)を通して、時事問題への関心を高め社会的事象に対する見方や捉え方を育てます。
- (5) アクティブラーニング型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。

3 学習上の留意点

- (1) 基本的な事項を『理解』『知識』として身につける。(時代の特徴、国会の仕組み 等)
 - (2) 教科書や地図帳等にアンダーラインをつけたり、ノートに自分なりにメモをとるなどしてまとめ、家庭学習で復習をしよう。
 - (3) 地図・統計資料・史料から何が読み取れるのかを考え、説明できるようにしよう。
 - (4) 世界で起きている出来事や身近な事柄と関連比較し、当事者意識をもち、主体性をもって学習しよう。
- ※授業前の準備・授業中の態度をしっかりできていることが前提です。当たり前なことを当たり前になよう。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- (1) データベースの問題を活用し、プリントで内容を振り返るなど自主学習に取り組みましょう。
- (2) 単元テストを通して授業の理解度を把握し、分からない所などは先生や友達に聞くなどしてノートにまとめよう。
- (3) タブレットを活用し、スタディサプリなど動画視聴や問題に意欲的に取り組みましょう。

5 単元テスト

- ・授業で扱った事項、および時事問題など試験範囲で提示した範囲から出題されます。
 - ・統計資料や史料などを用いた思考力・判断力を問う問題を出題します。
 - ・高校入試を意識した問題を出題します。
- ※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	歴史や現代の政治・経済国際関係等に関して理解しているか。また、様々な情報を効果的に調べまとめる力を身につけているか。	社会的に起きた出来事の意味や意義、特色について多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論する力を身につけているか。	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする姿が見られるか。
方法	(1) ノート (2) プリント (3) 単元テスト	(1) ノート (2) ICTの思考ツール (3) 単元テスト	(1) 単元を貫く問いに対する振り返り (2) 主体的な学習への取り組み

この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ルーブリック」に照らして評価します。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	【歴史的分野】 第5章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と民族独立の動き 第2節 高まるデモクラシーの意識 第3節 戦争に向かう世論	単元テスト 授業姿勢 ノートの状況 課題プリント	第一次世界大戦前後の国際情勢のあらまし、及び国民の政治的自覚の高まりについて理解する。
	5	第4節 第二次世界大戦の惨禍 第6章 現在に続く日本と世界 第1節 敗戦から立ち上がる日本 第2節 世界の多極化と日本の成長		昭和初期から第二次世界大戦の終末までの政治・外交、アジア諸国の動き、軍部の台頭から戦争までの経過を理解できる。
	6	第3節 これからの日本と世界 【公民的分野】		第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程や国際社会への参加について、世界の動きと関連させて理解できる。
	7	第1章 現代社会と私たち 第1節 現代社会の特色と私たち 第2節 私たちの生活と文化 第3節 現代社会の見方や考え方		現代社会の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化が見られることを理解し、現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現できる。
2 学期	8	第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共存社会	単元テスト 授業姿勢 ノートの状況 課題プリント	日本国憲法の基本原理(国民主権・平和主義・基本的人権の尊重)について、具体的な生活との関わりを通して理解し、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることを理解する。
	9	3節 これからの人権保障 第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治		個人の尊厳や公共の福祉などについて、多様な手法を使って話し合いや意見交換を行い、より深い人権意識を持つ。
	10	2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち		国民の政治参加が議会制民主主義を支えていることに気づき、政治に関心を持ち、積極的に関わる態度をもち、国の政治の課題について資料を収集し、比較や話し合いを通して、多面的・多角的に考察する。
	11			身近な事例を通して、経済に対する関心を高め、よりよい消費生活の在り方や消費者としての自覚について考える。
	12	第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済 2節 生活と労働 3節 市場経済の仕組みと金融		企業の生産活動や社会的責任について関心を持ち、具体的な事例を意欲的に収集する。価格の動きに注目し、市場経済を理解する。
3 学期	1	4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	単元テスト 授業姿勢 ノートの状況 課題プリント	身近な社会資本や公共サービスについて調べる中で、政府の経済的な役割に関心を持つ。
	2	第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の取り組み 2節 さまざまな国際社会 3節 これからの地球社会と日本		公害の防止や環境の保全について、具体的な問題やその解決のための取り組みについて意欲的に追求し、自分にできることを考え、行動する。
	3	高校入試対策		主権国家や国際連盟、地域主義など、国際社会のさまざまな主体について関心を持ち、それらが果たす役割や意義について考える。 国際法、軍縮、人口問題、地球環境問題、南北問題について考察する。 SDGsについて理解を深めたくうえで、中学で学んだ知識をもとに、各自で研究課題を設定し発表を行う。